



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 東り株式会社  
コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博  
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 松本 隆志  
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年11月29日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6494-6691

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	46,448	8.6	1,304		1,447		869	
2023年3月期第2四半期	42,754	6.3	68		17		67	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,063百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 23百万円 ( 82.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	14.44	
2023年3月期第2四半期	1.13	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	83,754	42,351	50.2
2023年3月期	84,791	40,894	47.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 42,055百万円 2023年3月期 40,613百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期		3.00			
2024年3月期(予想)				8.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	6.1	4,000	13.3	4,050	11.3	2,750	7.3	45.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	66,829,249 株	2023年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	6,643,464 株	2023年3月期	6,642,988 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	60,186,042 株	2023年3月期2Q	60,207,572 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行後、社会経済活動の正常化が進んだことに加え、所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりました。一方で、円安やウクライナ情勢の長期化等により、原油価格が再び上昇基調になるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、訪日外国人客数の回復による店舗・宿泊施設向け需要の持ち直しと共に企業の設備投資が高水準で推移するものの、各種建築資材の高騰や労務費上昇による建設投資停滞の側面もあり、事業環境は予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン〈TOLI VISION 2030〉の実現に向けて、2021年度から2024年度を対象期間とする中期経営計画『SHINKA Plus ONE』で掲げる5つの重点戦略（A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築）を推進しております。当期につきましては、販売価格改定の浸透を図ると共に、広化東リフロア新3号ラインの本格稼働やタイルカーペット用ナイロン原糸の内製化拡充、タイルカーペトリサイクルプラントを活用したりサイクル率向上など、安定供給体制の構築及び製造原価低減に注力し、収益力のさらなる向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高46,448百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益1,304百万円（前年同期 営業損失68百万円）、経常利益1,447百万円（前年同期比8,069.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益869百万円（前年同期 同四半期純損失67百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

#### <プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、販売価格改定の浸透が進んだことや対面での販促活動強化により、売上高を伸ばしました。ビニル系床材では、8月に発売した防滑性ビニル床シート「NS800」をはじめとするスペック活動を強化し、トイレ用高耐久ビニル床シート「消臭NSトワレNW」やワックスメンテナンスが長期間不要なビニル床タイル「イークリンNW-EX」等の高機能商品の採用も進みました。

カーペットでは、TOLI完全循環型リサイクルシステムの推進役を担う「GA-3600 サスティバック」が環境ニーズの高まりを背景に採用が増加し、また、グラフィックタイルカーペット「GXシリーズ」が好調に推移するなど、売上高は前年を上回る結果となりました。

壁装材では、当社独自商品の不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」が好調に推移したことに加え、壁装材全般で販売価格改定が浸透したことにより、汎用品の販売数量は減少したものの売上高は微増となりました。

カーテンでは、オーダーカーテン需要が弱含みで推移したものの、「えらべるって、楽しい！」をコンセプトに、6月に発売したデザインと機能性にこだわった総合見本帳「フフル」の販促活動に注力したことにより、売上高は前年を上回りました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は28,171百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は1,158百万円（前年同期 セグメント損失137百万円）となりました。

#### <インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸事業では、各種インテリア関連商材の仕入れコストの上昇が続く中、販売価格への転嫁を進めつつ、お客様のニーズに合った商品提案に注力いたしました。工事事業では、グループの施工力を活かして、リニューアル工事を含めた受注獲得に注力したことで、売上高は前年を大きく上回りました。一方で、東璃（上海）貿易有限公司では、ゼロコロナ政策解除による事業環境の改善が期待されましたが、不動産業界の混乱が続くなど、中国経済の成長鈍化が影響し、同社の第2四半期（2023年1月～6月）の売上高は前年を下回る結果となりました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は30,301百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は530百万円（前年同期比52.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

## &lt;資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,001百万円減少し、47,676百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,965百万円増加し、36,078百万円となりました。これは主に、株価上昇により投資有価証券が増加したためです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,036百万円減少し、83,754百万円となりました。

## &lt;負債&gt;

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,228百万円減少し、28,498百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ735百万円増加し、12,905百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,493百万円減少し、41,403百万円となりました。

## &lt;純資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,456百万円増加し、42,351百万円となりました。これは主に、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したためです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、9,642百万円（前第2四半期連結累計期間9,604百万円）となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,865百万円の収入（前年同期1,453百万円の収入）となりました。税金等調整前四半期純利益及び棚卸資産の増減額の増加等により、前年同期に比べ収入が増加しております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,031百万円の支出（前年同期1,488百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出の増加等により、前年同期に比べ支出が増加しております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、817百万円の支出（前年同期585百万円の支出）となりました。配当金の支払額の増加等により、前年同期に比べ支出が増加しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2023年10月31日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,745	9,816
受取手形及び売掛金	20,287	16,050
電子記録債権	6,666	6,949
商品及び製品	8,978	9,337
仕掛品	1,780	2,152
原材料及び貯蔵品	2,284	2,105
その他	993	1,312
貸倒引当金	△58	△48
流動資産合計	50,677	47,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,077	7,072
機械装置及び運搬具（純額）	5,483	5,258
工具、器具及び備品（純額）	439	412
土地	8,343	8,345
建設仮勘定	1,587	2,565
その他（純額）	110	97
有形固定資産合計	23,042	23,751
無形固定資産		
ソフトウェア	698	521
その他	113	296
無形固定資産合計	811	818
投資その他の資産		
投資有価証券	5,200	6,768
繰延税金資産	792	361
その他	4,525	4,670
貸倒引当金	△260	△292
投資その他の資産合計	10,258	11,509
固定資産合計	34,113	36,078
資産合計	84,791	83,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,232	16,107
電子記録債務	6,066	6,084
短期借入金	1,020	320
未払法人税等	1,107	617
未払費用	1,677	1,680
賞与引当金	739	786
役員賞与引当金	9	—
その他	2,874	2,902
流動負債合計	31,726	28,498
固定負債		
長期借入金	5,680	6,380
退職給付に係る負債	3,762	3,858
その他	2,727	2,666
固定負債合計	12,169	12,905
負債合計	43,896	41,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	26,311	26,578
自己株式	△1,500	△1,500
株主資本合計	38,092	38,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,048	3,137
為替換算調整勘定	336	429
退職給付に係る調整累計額	136	129
その他の包括利益累計額合計	2,521	3,696
非支配株主持分	281	295
純資産合計	40,894	42,351
負債純資産合計	84,791	83,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	42,754	46,448
売上原価	31,112	32,960
売上総利益	11,641	13,488
販売費及び一般管理費	11,710	12,183
営業利益又は営業損失(△)	△68	1,304
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	93	91
仕入割引	37	39
保険配当金	43	46
その他	121	117
営業外収益合計	297	296
営業外費用		
支払利息	31	32
持分法による投資損失	162	103
その他	17	18
営業外費用合計	211	153
経常利益	17	1,447
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	15	2
特別利益合計	15	5
特別損失		
固定資産除却損	10	35
特別損失合計	10	35
税金等調整前四半期純利益	23	1,417
法人税、住民税及び事業税	158	576
法人税等調整額	△60	△47
法人税等合計	98	529
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74	888
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	19
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67	869



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74	888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	1,088
為替換算調整勘定	300	92
退職給付に係る調整額	△5	△6
その他の包括利益合計	97	1,175
四半期包括利益	23	2,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29	2,044
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	23	1,417
減価償却費	1,083	1,236
固定資産除却損	10	35
固定資産売却損益(△は益)	—	△3
投資有価証券売却損益(△は益)	△15	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	28	22
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	69	87
受取利息及び受取配当金	△94	△93
助成金収入	△11	△1
支払利息	31	32
売上債権の増減額(△は増加)	3,635	4,004
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,175	△504
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,077	△2,155
その他	153	△291
小計	1,660	3,783
利息及び配当金の受取額	94	93
助成金の受取額	11	1
利息の支払額	△32	△32
法人税等の支払額	△280	△980
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,453</b>	<b>2,865</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,315	△1,606
有形固定資産の売却による収入	—	5
無形固定資産の取得による支出	△195	△56
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	21	4
貸付けによる支出	△6	△2
貸付金の回収による収入	9	4
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△321
その他	2	△54
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,488</b>	<b>△2,031</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	800	900
長期借入金の返済による支出	△800	△900
配当金の支払額	△482	△601
その他	△103	△215
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△585</b>	<b>△817</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	38
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△585	54
現金及び現金同等物の期首残高	10,189	9,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,604	9,642

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,911	27,843	42,754	—	42,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,101	124	11,225	△11,225	—
計	26,012	27,967	53,980	△11,225	42,754
セグメント利益又は損失(△)	△137	347	210	△192	17

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額△192百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,246	30,201	46,448	—	46,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,924	99	12,024	△12,024	—
計	28,171	30,301	58,473	△12,024	46,448
セグメント利益	1,158	530	1,689	△242	1,447

(注)1 セグメント利益の調整額△242百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、東リインテリアサービス㈱(2023年4月1日より東リオフロケ㈱から商号変更)は、プロダクト事業セグメントに含めておりましたが、業態変更等に伴い、第1四半期連結会計期間よりインテリア卸及び工事業セグメントに含めて開示しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメント利益又は損失に対する影響が軽微であるため、変更後の区分に基づき作成しておりません。